



令和3年度 学校経営の目標について

次のとおり坂越中学校の教育方針を決定し、取り組んでまいります。

(校訓)
希望
友情
責任

(めざす生徒像)
・共に伸びる生徒
・共に学ぶ生徒
・共に生きる生徒

(めざす教師像)
・感性豊かで創造的な教師
・常に夢と希望を持たせる教師
・自己研鑽に努め、使命感を自覚する教師



学校経営目標

「志を高く持ち、夢に向かって主体的に学ぶ生徒の育成」
～さわやかな「あいさつ」、あふれる「笑顔」、響く「歌声」～



基本方針

- (1) 子供たちが、毎日「笑顔」で登校し、安心して生活できる学校・学級づくりを行うため、日々の「あいさつ」「歌声」を大切に、「明日も行きたい」学校づくりをめざす。
- (2) 志を高く持ち、自分の夢の実現に向かって、自身や母校、さらには地域に対する「自信」「誇り」を抱かせ、主体的に学ぶ力を身に付けさせる。
- (3) 本校の伝統と文化を継承し、それを更に高めることの大切さを謳う「坂中精神」に基づき、生徒会活動を中心とした、自ら「気づき・考え・行動」する生徒を育成する。

努力目標と実践項目

(1) 確かな学力を育成する。 <知>

- ① 協同学習を活かした「主体的・対話的で深い学び」を推進し、生徒同士の学び合いを通しながら、共に向上しようとする態度を育成する。
- ② 校内授業研究の充実や授業等相互自由参観の奨励を進め、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、「分かる授業」の創造をめざし、子供たちが主体的に学習に取り組む態度を養う。
- ③ 授業改善を図るとともに、モジュール学習を充実させ、各教科における基礎的・基本的な学力の定着を図る。
- ④ 生徒が安心して学べる環境づくりを推進する。

(2) 豊かな心を育成する。 <徳>

- ① 人権尊重の精神の涵養を図る人権教育を推進し、「自他の人権を守ろう」とする意識、意欲、態度を育成する。
- ② 「特別の教科 道徳」の研究と実施により、人を思いやる心を育て、仲間とともによりよく生きようとする態度を育てる道徳教育の推進を図る。
- ③ 体験的、実践的な活動を通して自立心や自律性、ルールやきまりを主体的に尊重する心や態度を育てる。
- ④ 「命の大切さ」を実感させる心の教育の充実を図り、人の痛みや感情を共感的に受容できる想像力や感受性、社会性を育成する。
- ⑤ 赤穂特別支援学校との交流を通して、共に生きる心の教育を推進する。

(3) 健やかな体を育成する。 <体>

- ① 全教育活動を通じて体力の向上に努め、心身共に健康な体づくりを推進する。
- ② 健康的な生活習慣の基礎を築き、『早寝、早起き、朝ごはん』の習慣化を図る。

(4) 新たな不登校を生み出さない、生徒への寄り添った支援を推進する。

- ① 不登校傾向を示す生徒や保護者との積極的な関わりと関係機関の協力を得ながら、早期対応を実践し、新たな不登校を生み出さない支援体制を継続する。

(5) 特別支援教育の充実を推進する。

- ① 教育支援委員会の充実を図り、系統立った一貫性のある指導体制を構築する。また、特別支援教育指導補助員との連携を図り、一人一人の教育ニーズに対応したより効果的な支援を推進する。
- ② インクルーシブ社会の実現へ向け、自立して社会参加できる教育を充実させる。

(6) 魅力ある学校づくり、地域に開かれた信頼される学校づくりを進める。

- ① 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を活用した学校運営の改善に努める。
- ② 学校の運営状況や取組等の情報を、保護者や地域に積極的に情報を提供するとともに、地域に開かれた特色ある教育活動を進める。
- ③ 地域体験活動、ボランティア活動等を通じて、地域に貢献できる生徒を育成する。
- ④ 中学校区の学校園所でPTAや地域と連携したあいさつ運動を推進する。
- ⑤ 学校評価や前年度の総括から、PDCAサイクルを活かした学校運営の改善に努める。

(7) 安全安心な学校づくりを進める。

- ① 想定される危機事象に対して、リスク管理や危機管理マニュアルの作成段階から教職員間で共有を図り、早期発見・早期対応に努める。
- ② 学校が安全確保義務を着実に果たすために、生徒の安全を最優先に守る体制作りを行うとともに、「学校事故対応に関する指針」（文科省）に基づく具体的な取組を行う。